

年代によるアイドルの楽曲の歌詞で使用される単語の違いの分析

システム工学部 60266261 二神 暁翔

概要：本レポートでは、日本のアイドルの楽曲の歌詞を、MeCab を用いて形態素解析を行い、分析することで、歌詞の中に使用される単語の特徴を明らかにすることを目的とする。また、分析結果をもとに、作詞された年代によって使用される単語に違いがあるかを明らかにし、違いがあれば、使用される単語の年代による違いの比較を行った。結果は、単語の品詞によって時代の変化に対応して変化するものと、変化しないものが存在するものの、時代によって歌詞の中で使用される単語は変化すると結論付けられるものとなった。

キーワード：テキストマイニング、歌詞、アイドル、MeCab

1. はじめに

使われる言葉は、時代によって変化すると私は考える。例えば、流行語といったものが毎年発表され、若者言葉に挙げられるような、その時にしか使われない言葉というものが存在すると思う。これは、歌詞にも同様に当てはまるのではないかと推測する。

また、スマートフォン普及といった環境の変化が、歌詞にも色濃く反映されるのではないかと推測される。例えば、スマートフォンの普及であれば、テキストによる連絡手段が、手紙からメール、そして LINE に変化していき、そのような状況が作詞された時代による違いとして存在するのではないかと考える。

以上のような要素を考慮すると、歌詞の中に使われる単語は、時代によって異なると推測され、使われる単語を分析して、特徴を考察することは、大きな意義があるのではないかと考える。

2. 目的

本レポートにおける目的は、年代ごとにアイドルの楽曲の歌詞に使われる単語の特徴を明らかにし、時代の変化によって使用されている単語が異なるかを考察する。

また、使用されている単語が異なる場合は、どのような単語が多く使われているかを分析することを通して、使用する単語による歌詞の変化について考察していく。

3. 実験

3.1 実験手順について

本レポートに関する実験については、以下の手順で行った。

1. まず、アイドルの楽曲の歌詞データを取得し、年代ごとにテキストデータとして保存する。

歌詞データは「歌詞検索サービス 歌ネット」(<https://www.uta-net.com>) から BeautifulSoup ライブラリを用いて取得する。

2. 作成したテキストデータを、neologdn ライブラリを用いてテキストの正規化処理を行う。
3. 正規化処理を行ったテキストデータを、MeCab ライブラリを用いて形態素解析を行い、名詞・動詞・形容詞・副詞・接続詞・連体詞を抽出する。
4. 抽出した単語リストから上位 20 個を表示し、データごとの違いを分析する。

3.2 比較実験について

本レポートにおける実験の目標は、時代における歌詞に使われる単語の違いについて考察することである。そのため、年代によってデータを用意して比較する必要がある。今回は、年代を 1970 年代、1980 年代、1990 年代、2000 年代、2010 年代に主に活躍した女性アイドルに分けて比較実験、分析を行った。なお、使用する歌詞データについては、山口百恵、ピンクレディーの楽曲を 1970 年代、松田聖子、おニャン子クラブの楽曲を 1980 年代、SPEED、モーニング娘。の楽曲を 1990 年代、AKB48、ももいろクローバーの楽曲を 2000 年代、乃木坂 46、BiSH の楽曲を 2010 年代のデータとして取り扱う。

3.3 結果

実験結果を以下の表 1～5 に示す。なお、実験データに含まれていた文字数は、1970 年代は 76731 字、1980 年代は 100989 字、1990 年代は 165412 字、2000 年代は 191123 字、2010 年代は 184590 字であった。

表 1 年代別女性アイドル曲の歌詞に最も利用された名詞

データ内に登場した名詞										
	1970年代		1980年代		1990年代		2000年代		2010年代	
順位	使用された単語	登場回数(回)	使用された単語	登場回数(回)	使用された単語	登場回数(回)	使用された単語	登場回数(回)	使用された単語	登場回数(回)
1	あなた	566	あなた	678	あなた	473	ん	458	ん	759
2	私	513	の	303	の	344	君	455	こと	679
3	の	310	人	286	人	339	の	435	の	666
4	人	272	私	280	私	330	こと	403	僕	662
5	愛	185	愛	167	そう	279	私	368	何	624
6	こと	143	心	149	愛	257	何	343	君	623
7	恋	139	二	146	恋	224	人	336	人	388
8	心	136	こと	143	ん	186	僕	326	誰	372
9	さ	117	よう	125	夢	186	夢	289	今	306
#	今	115	胸	122	何	164	今	285	よう	300
#	時	106	恋	104	時	164	よう	281	自分	274
#	よう	100	時	104	よう	158	誰	272	さ	261
#	誰	96	中	98	心	158	愛	264	もの	242
#	日	96	何	96	さ	158	さ	251	どこ	226
#	夢	92	夢	93	日	147	あなた	235	私	217
#	中	91	今	87	今	140	一	214	愛	213
#	胸	91	風	82	未来	140	自分	201	一	201
#	ひと	81	日	80	好き	137	中	195	そう	191
#	二	80	まま	79	誰	137	たち	185	好き	190
#	何	73	そう	77	君	137	心	181	夢	188

表 2 年代別女性アイドル曲の歌詞に最も利用された動詞

データ内に登場した動詞										
	1970年代		1980年代		1990年代		2000年代		2010年代	
順位	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)
1	する	368	いる	383	する	938	する	930	する	1264
2	いる	350	する	382	てる	649	いる	819	てる	999
3	れる	191	てる	343	いる	435	てる	735	いる	828
4	なる	161	なる	150	なる	336	なる	462	なる	622
5	てる	150	れる	133	ある	232	れる	335	れる	454
6	来る	109	愛す	100	れる	208	ある	233	ある	363
7	愛す	108	ある	90	ちゃう	195	行く	211	行く	246
8	ある	94	ゆく	88	行く	155	られる	210	来る	242
9	知る	83	見つめる	80	愛す	143	見る	189	できる	223
10	ゆく	76	生きる	78	いく	141	来る	183	わかる	220
11	行く	70	くれる	77	生きる	131	生きる	150	言う	219
12	見る	59	忘れる	76	泣く	121	く	137	見る	209
13	せる	53	られる	75	言う	115	言う	134	みる	199
14	消える	53	言う	70	く	110	くれる	134	られる	196
15	忘れる	53	歩く	69	見る	106	せる	132	しまう	195
16	泣く	51	くる	61	知る	103	みる	119	くれる	184
17	しまう	50	できる	60	くる	98	知る	119	知る	182
18	くる	49	く	60	られる	93	できる	109	生きる	175
19	言う	49	待つ	59	来る	90	信じる	108	やる	152
20	くれる	46	しまう	59	くれる	86	わかる	108	思う	147

表 3 年代別女性アイドル曲の歌詞に最も利用された形容詞

データ内に登場した形容詞										
	1970年代		1980年代		1990年代		2000年代		2010年代	
順位	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)
1	ない	106	ない	64	ない	234	ない	333	ない	575
2	いい	105	優しい	55	いい	218	いい	257	いい	345
3	やさしい	47	いい	48	優しい	106	強い	104	欲しい	96
4	白い	33	強い	40	強い	76	欲しい	62	強い	78
5	熱い	32	白い	32	ほしい	64	さあ	59	よい	70
6	欲しい	32	恋しい	29	楽しい	61	よい	56	ああ	54
7	淋しい	32	悲しい	27	良い	59	切ない	52	ほら	47
8	ほしい	27	さよなら	25	寂しい	56	やさしい	52	やさしい	45
9	悲しい	26	青い	23	やさしい	51	熱い	49	優しい	44
#	よい	25	よい	23	熱い	50	愛しい	48	悲しい	43
#	若い	22	切ない	23	ああ	49	ああ	45	愛しい	42
#	深い	21	ほしい	23	よい	48	ほら	43	寂しい	42
#	優しい	21	ほら	23	さあ	46	新しい	43	さあ	41
#	甘い	20	淋しい	22	すごい	43	遠い	41	新しい	40
#	強い	20	欲しい	21	遠い	40	悲しい	41	ごめん	38
#	さよなら	19	新しい	21	新しい	40	長い	40	悪い	35
#	恐い	19	熱い	19	長い	39	楽しい	36	切ない	34
#	赤い	18	赤い	19	ほら	38	悪い	35	深い	32
#	あゝ	18	つらい	17	でっかい	37	ありがと	33	遠い	30
#	ああ	18	冷たい	16	うれしい	32	美しい	33	痛い	29

表 4 年代別女性アイドル曲の歌詞に最も利用された副詞

データ内に登場した副詞										
	1970年代		1980年代		1990年代		2000年代		2010年代	
順位	使用さ れた単 語	登場回 数 (回)	使用さ れた単 語	登場回 数 (回)	使用さ れた単 語	登場回 数 (回)	使用さ れた単 語	登場回 数 (回)	使用さ れた単 語	登場回 数 (回)
1	いつも	56	もう	102	きっと	139	もっと	159	そう	238
2	もう	48	ずっと	79	ずっと	119	ずっと	142	もう	164
3	もっと	47	きっと	70	もう	118	そう	138	ずっと	157
4	そう	42	そう	63	そう	116	もう	110	いつも	131
5	きっと	39	そっと	56	もっと	108	きっと	101	どう	129
6	すぐ	27	いつも	55	いつも	100	いつも	90	きっと	126
7	なぜ	26	少し	37	ちょっと	88	まだ	81	なぜ	108
8	もしも	25	もう一度	35	少し	53	どう	68	もっと	91
9	少し	25	もっと	31	どう	42	ちょっと	66	すぐ	86
10	どう	24	まだ	22	また	41	すぐ	52	まだ	86
11	そっと	20	すぐ	19	まだ	41	なぜ	49	ちょっと	54
12	とても	19	まるで	18	全く	41	少し	47	ちゃんと	48
13	初めて	17	ちょっと	18	どうして	38	いと	35	そっと	47
14	突然	15	なぜ	16	すぐ	30	また	32	少し	44
15	まるで	14	初めて	15	やっぱり	29	これから	28	たった	42
16	ひとり	14	とても	15	もう一度	28	そっと	28	また	39
17	こう	13	二度と	15	これから	28	もう一度	28	初めて	35
18	ちょっと	12	これから	15	なんだか	26	ちゃんと	26	これから	32
19	よく	12	こんなに	12	なぜ	24	ジャンシ	26	もう一度	29
20	まだ	11	どう	9	本当に	23	まるで	25	やがて	28

表 5 年代別女性アイドル曲の歌詞に最も利用された接続詞

データ内に登場した接続詞										
	1970年代		1980年代		1990年代		2000年代		2010年代	
順位	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)	使用された単語	登場回数 (回)
1	そして	24	そして	15	また	62	また	40	また	60
2	ただ	21	また	13	それでも	23	ただ	37	ただ	47
3	また	20	こうして	7	そして	20	それでも	31	それでも	29
4	それでも	9	た	6	ただ	12	そして	22	だから	20
5	だから	6	又	4	だから	9	だから	15	そして	13
6	たとえば	5	だけど	4	でも	8	そりゃ	11	だけど	11
7	こうして	4	でも	3	例えば	8	でも	9	じゃ	9
8	それとも	4	そしたら	3	だけど	8	ないし	6	それとも	9
9	追って	3	じゃ	2	それなの	6	それとも	6	ないし	9
#	例えば	3	それで	2	それでは	4	だけど	6	一方	7
#	それで	3	それでも	1	それとも	4	じゃ	5	例えば	6
#	つまり	3	それとも	1	それで	3	しかし	5	それで	6
#	それなの	3	だから	1	まずは	3	まずは	5	そりゃ	5
#	実は	3	じゃあ	1	じゃ	2	だって	4	でも	5
#	でも	2	本当は	1	一方	2	じゃあ	4	いや	3
#	そしたら	1	それから	1	が	2	こうして	3	じゃあ	2
#	だけど	1			ないし	2	されど	3	それなら	2
#	そりゃ	1			なお	2	本当は	2	そこで	2
#	けれども	1			そりゃ	2	一方	2	こうして	2
#	かくして	1			もしくは	2	実は	2	あるいは	2

表 6 年代別女性アイドル曲の歌詞に最も利用された連体詞

データ内に登場した連体詞										
順位	1970年代		1980年代		1990年代		2000年代		2010年代	
	使用された単語	登場回数(回)	使用された単語	登場回数(回)	使用された単語	登場回数(回)	使用された単語	登場回数(回)	使用された単語	登場回数(回)
1	あの	114	この	178	この	282	この	342	この	286
2	この	110	その	88	その	147	その	221	その	265
3	その	59	あの	85	あの	131	あの	99	あの	162
4	小さな	29	そんな	41	どんな	98	どんな	96	そんな	157
5	そんな	29	こんな	24	そんな	55	そんな	82	どんな	97
6	同じ	14	どんな	20	こんな	46	こんな	49	こんな	88
7	ほんの	13	同じ	17	同じ	38	同じ	40	同じ	60
8	こんな	13	ほんの	10	ほんの	23	小さな	23	小さな	15
9	どんな	9	小さな	9	大きな	15	大きな	18	ほんの	12
10	大きな	8	見知らぬ	7	ちっちゃ	12	我が	13	あんな	12
11	おかしい	4	大きな	5	いろんな	11	いろんな	13	大きな	12
12	ある	3	ある	2	おんなじ	11	どの	11	そういう	11
13	そういう	3	あんな	2	ある	10	おんなじ	7	ある	6
14	いろんな	2	色んな	2	あんな	9	そういう	6	どういう	6
15	おんなじ	2	どの	1	小さな	6	ほんの	6	こういう	6
16	どういう	2	そういう	1	ちよっと	5	ある	5	大した	4
17	さる	2	どういう	1	そういう	4	まさかの	5	いろんな	4
18	見知らぬ	2			聖なる	2	去る	5	まさかの	3
19	ふとした	2			輝ける	2	どういう	3	亡き	3
20	あんな	1			おかしい	2	おなじ	3	おんなじ	2

4. 考察

上記の実験結果より、時代によって歌詞の中で使用される単語は変化すると結論付ける。

まず、名詞については、1970年代から1990年代については「あなた」が最も多く登場していたのに対して、2000年代以降は、「君」が多く用いられていることが分かる。また、どの年代にも「私」という単語は登場しているが、2000年代以降になって「自分」という言葉も多く使用されていることが分かる。これより、年代によって利用される人称が変化していると考察される。一方、「愛」や「夢」といった単語は全年代で多く利用されており、歌詞に求められている内容は、時代が変わっても大きく変化しないと考えられる。

次に、動詞については、1980年代までは「ゆく」という単語が多く使用されているが、1990年代以降は「行く」という単語が多く使用されている。これは、同じ意味を持つ単語であっても、時代によって言い方が変化していることを示すと考えられる。また、1980年代までは「忘れる」という単語が多く利用されているが、1990年代以降はほとんど利用されていない。一方、「生きる」という単語は、1980年代以降に多く使用されている。これは、その時代に生きる人々の価値観に何らかの大きな変化があったのではないかと考察する。

そして、形容詞については、1970年代に、「ああ」と「あゝ」が使用されていることが分かる。これも、同じ意味の単語であっても時代によって

読み方が変化したものであると考えられる。また、1970年代から1980年代は、「赤い」や「白い」といった色についての単語が多く用いられていることがあげられる。これは、この時代は表現したい対象を色に例えていたのではないかと考察する。

接続詞は、「また」や「それでも」が用いられているが、全体の登場回数が少なく、歌詞の中に接続詞は歌詞の中にあまり用いられないことが分かる。

最後に連体詞については、「この」「あの」「その」がどの年代でも多く利用されていることが分かる。これは、他の単語と異なり時代による変化が無いと考えられる。

以上の結果および考察より、単語の品詞によって時代の変化に対応して変化するものと、変化しないものが存在することが分かった。

なお、今回のデータは各年代で2組の女性アイドルをピックアップして歌詞データを使用したため、データに偏りがある可能性も否定できない。今後の課題としては、さらに多くのデータを用いて分析することが求められると考える。また、名詞の中でも、一般名詞と固有名詞に分けるといった、品詞を細分化して分析すれば異なる傾向を明らかにすることもできたと考える。

5. まとめ

本レポートでは、年代ごとにアイドルの楽曲の歌詞に使われる単語の特徴を明らかにし、時代の変化によって使用されている単語が異なるかを考察した。品詞によって変化の有無が分かる結果となったが、時代による歌詞の変化は存在するといえるだろう。この結果を踏まえて、数十年後、同じような分析を行えば、また異なった視点での考察が行えるのではないかと感じた。

参考文献

[1] 歌詞検索サービス 歌ネット
<https://www.uta-net.com/>
(2023年1月30日閲覧)

[2] 秋元康氏、AKB48「フライングゲット」乃木坂46「おいでシャンプー」タイトルの由来明かす - モデルプレス
<https://mdpr.jp/news/detail/3541707>
(2023年1月30日閲覧)